



どうする？ どうなる？ 就活・就職

～気になる学生・社会人のホンネ～

年が明けると就活、戦線が目の前に迫ってきます。自身の未来予想図を描き、企業研究を進めている学生のみなさんの中には、面接開始時期のルールが再び見直されることもあり、不安を抱えている人もいます。やりがいのある会社をどう見つけたらいいのか、実際に就職したらどう生活が変わるのか。そんな素朴な疑問を、金沢大学、金沢工業大学の学生4人が、PFU(かほく市)に勤める若手社員にぶつけてみました。



Chiaki Nishio

司会

北陸放送アナウンサー

西尾 知亜紀さん

青山学院大卒、小松市出身。
「学生の皆さんの話を聞くと、入社当
時を思い出して身が引き締まります」



Katsunori Aoyama

PFU若手社員

イメージプロダクト事業部
ファームウェア開発部

青山 勝紀さん

金沢工大大学院修了。2009年入社。
「滋賀県出身ですが、今は石川県が氣
に入ってます」



Yui Kitamura

PFU若手社員

エンベデッドプロダクト事業部
第二技術部

北村 裕衣さん

金沢工科大学院修了。2015年入社。石川
県出身。「学生の悩みがよくわかります」



Hirotohi Kakuda

PFU若手社員

イメージプロダクト事業部
第一技術部

角田 裕俊さん

金沢工科大学院修了。2011年入社。
「就職は地元石川でと考えていました」



Takanori Asano

学生

金沢大 人間社会学域 地域創造学類
地域プランニングコース 3年

浅野 嵩法さん

来年からの就活を控える。興味の幅
が広くて業種はしぼれていないが、
故郷の新潟で就職を考え中



Ayako Shikata

学生

金沢大 人間社会学域
国際学類 ヨーロッパコース 2年

四方 彩子さん

フランスに留学予定。就活に向けて情
報収集中。いろいろな経験をしてやり
たいことを見つけたい



Takumi Yanagimachi

学生

金沢工大 工学部
電気電子工学科 4年

柳町 卓実さん

自分のやりたいことを実現するため、
石川県の企業と迷ったが、出身地長野
での就職が決定した



Seishu Yanagihara

学生

金沢工大 工学部
電子情報通信工学科 4年

柳原 世周さん

就職を考えていたが、大学院に進学
する。ウェブデザインのお手伝い
をしている

— PFU × KANAZAWA UNIVERSITY + KANAZAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY —

学業と就活の両立、自己分析… 悩める学生たち

西尾 2016年の就職活動は、選考開始時期が昨年より2ヶ月早まり、6月のスタートとなります。2年連続で「就活」のルールが変わり、学生のみなさんから不安の声も聞かれるようです。

浅野 4年生は今年の夏休み中に就職を決めた感じでしたが、それでも卒論のゼミもあり、ヒイヒイ言っていました。来年は自分たちの番です。就活と卒論ゼミを両立できるのか不安に感じています。

角田 私は就活中も大学院の授業を受けていました。先生と調整して、必要なら後で教えてもらうというやり方で、出席できなくても勉強はできる形でやっていましたよ。

浅野 うらやましいです。私のゼミは毎週必ず出席するように指導されています。授業、ゼミ優先で、就活はあくまで個人的な都合というわけです。もし第一希望の会社の面接がゼミの日に重なったらどうしようとか今から悩んでいます。

北村 確かに、大学での研究と就活の両立は難しかったですね。エントリーシートを書かなきゃいけないけど、実験もしたいというところで苦労したり。ゼミで「今週の進捗はありません」と言わなきゃいけないで辛かった。でも、教授から「就活だけでなく研究も一生懸命やることが両方の結果につながる」と言われて、その通りだなと思いました。研究を頑張ったからこそ、それが自信となり、就活でも堂々と話ができたと感じます。

柳原 先日、後輩から「僕の長所、短所って何ですか」とって聞かれました。僕は就活し、内定をもらった上でもう一度考え直して、大学院への進学を決めました。自分の進路を考える上で、自己分析をしっかりすることは大事ですね。

青山 学生時代は「とにかく遊べ」とよく言われますね。時間が自由に使えるうちに遊んで、いろんなものを見ることが、自分の興味がどこに向いているかという自己分析にもつながると思います。

北村 私は自己分析が苦手でした。短所ばかり思いついてしまっ。今思うと、短所を見るとマイナス思考になってしまうので、短所を長所に言い換えるとか、自分はこういうところがいいと思えばいいと、大事にすることが大事だと感じています。

自分がやりたいこと・ 行きたい会社を見つけるには？

西尾 私は学生時代からアナウンサーになりたいという強い思いを持っていました。振り返ってみると、自分の強みや目標を明確にし、志望する会社でどのように生かせるか、貢献できるかを具体的に話せるようにしておくことが大事だと感じます。学生の皆さんは、こんな会社に入りたいというイメージを持っていますか。

四方 私はまだ2年生なので、就活についてそこまで考えが及んでいなくて。業種も絞れていない状況です。PFUのみなさんはどうしてこの会社を選ばれたのですか？

角田 私の場合は、ものづくりがしたいという漫然とした思いがあって、その中でも、たとえば車の一つの部品だけを作るのではなく、最終製品をつくりたいと思いました。比較的少人数のプロジェクトで、一つの製品の面倒を最後まで見れるという点で、PFUという会社が自分の思いとマッチしました。

青山 志望会社を決める前に、合同説明会などでいろんな会社を見るようにしました。そして、興味がある会社をことごとく調べましたね。こうする中で、どの方向に進むべきかということを決められたように感じます。関西の企業も訪問したので移動は大変でした。

北村 私も何かものづくりがしたいと思っていましたが、何を作りたいかがまったく分からなくて。合同説明会では特に分野を絞らず、いろいろな会社の話を聞きました。たくさん話を聞くことで、自分のやりたいことが明確になった気がします。

四方 まず情報を得て、いろんなところに行って見ることが大事なんですね。

地元組・1ターン組 それぞれが感じる石川の魅力

西尾 学生時代は東京でしたが、地元石川の会社で働くことになり、伝統とモダンが融合した美しい街の魅力や人の温かさを改めて感じたこと、また家族や友人が近くにいる安心感も大きく、本当に良かったと感じています。

柳町 私は石川でも就活しましたが、出身地の長野で就職することにしました。しかし、就活後に東京の外資系企業を見る機会があり、そこで働くのも将来のためになったかもしれないと考えたりして、本当にそれで良かったのかも感じています。

西尾 どんな会社に入るか、どこで就職するかというのは本当に難しいですね。PFUのみなさんは、石川県の企業に就職してみたいかがですか。本音を聞かせてください。

青山 実家から通える京都や大阪にも良い会社がありましたが、自分がやりたいことに合致したのでPFUに入社しました。石川だから決めたわけではなかったのですが、今では実家よりも居心地が良くなりました。冬は大変ですが、兼六園など、雪をきれいな方向に持っていき美しさがあるのが魅力ですね。

北村 大学は県外の方が良かったと思ったこともありましたが、金沢ですと暮らしてきたので愛着があります。まずは県内のものづくり会社から見ていこうと就活してPFUに決め、金沢に残れてうれしかった。まだ予定はないですが、結婚、出産後も働き続けたいと思っています。PFUは産休や育休の制度が整っているので安心です。

角田 首都圏でも就活しながら、本命は地元の北陸という考えで、最終的に石川に落ち着きました。地元で就職すると昔からの友達が近くにいるのでいいですね。

働きながら実感する やりがいと喜び

四方 PFUさんは国内全域、海外にも製品を展開されていますが、石川にいなながらそれを実感することってありますか？

角田 製品が売れるとネットランキングにも上がります。石川で開発していますが、国内だけでなく、世界にも売れていると実感します。

青山 サポートセンターには自分が開発した製品へのコメントや、時には苦情も届きます。それを見ると、自分の製品が使われているな、もっとこうしたらいいなと考えるきっかけになります。海外の販売拠点には先輩が年に何度か足を運び、どういう形で使われているかを伝えてくれます。自分たちの製品が海外でも愛されていると実感できますね。

柳町 9月に米国に行った際、レシートや文書も電子化されている現状に驚きました。主力商品のスキャナーについては、どういった方向で攻めていくのでしょうか。

青山 先進国だけでなく、新興国でも私たちの製品が必要とされています。また、電子化したものに対しても何かしたり、別の技術に流用できないかなど、日々新しいことを考えながら仕事をしています。

四方 私は間もなくフランスに留学します。フランスで働きたいとか、フランス語を使う職場でなければという思いはなく、経験の一つになればいいと考えています。業種を絞れない不安もありますが、PFUのみなさんのお話を聞き、自分が一番したいことを考えていけばいいのかなと感じました。

浅野 これまで、就職で新潟に帰らなきゃいけないという気持ちもありましたが、自分のやりがい、やりたいことを決めていけば迷わずに済むのかなと思えました。

柳原 正直なところ、僕はあまり就活を考えていなくて。というのも、ホームページ制作のお手伝いをしていて、フリーという選択もありかかと感じています。就職するかもしれないですが、とりあえず大学院の2年間はそういう形で仕事をするつもりです。

西尾 将来を思い描きながら悩む学生のみなさんの気持ちが伝わってきました。就活に臨む学生のみなさんにはぜひ、多くの方のお話を聞き、不安になりすぎず、そして気負わずに、自分のやりたいことを見つけたいと思います。その上で、私たちと同じように、石川県で働くことも選択肢に入れていただきたいですね。

(文中敬称略)